様式第８号（第２２条関係）

火災予防上必要な業務に関する計画提出書

年　　月　　日

坂戸・鶴ヶ島消防組合
消防長　　様

届出者
住　所
（電話　　）
氏　名

防火担当者
住　所
（電話　　）
氏　名

別添のとおり火災予防上必要な業務に関する計画書を提出します。

指定催しの開催場所			
指定催しの名称			
開催期間	自　年　月　日 至　年　月　日	開催時間	開始　時　分 終了　時　分
一日あたりの人出予想人員		露店等の数	
使用火気等	□コンロ等の火を使用する器具　□ガソリン等の危険物 □その他（　　）		
その他必要事項			

※　受　付　欄	※　経　過　欄

備考
１　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
２　□印のある欄には、該当の□印にレを付けること。
３　※印の欄は、記入しないこと。

別添１

火災予防上必要な業務に関する計画について

１　防火担当者及び火災予防上必要な業務について従事する者を定めるとともに、業務を実施する体制として業務の分担、活動の範囲その他必要に応じて内部組織の設置等について以下のとおり定める。（別紙の配置図参照）

実行委員会の概要	別紙のとおり（役割・所属・氏名・連絡先・当日連絡先）
警備本部の体制	
緊急車両の配置	
救護本部の体制	
消防機関の体制 （消防団を含む）	
警察機関の体制	
行政機関の体制	
運営事務局の体制	
その他必要な事項	

２　指定催しにおける対象火気器具等の使用や危険物の取扱いの有無や場所、態様について催しを開催する日までに把握する方法や催し当日において、それらの確認方法を以下のとおり定める。

事前会議の経過 （出店舗の把握等）	
出店舗への説明等の経過	
対象火気器具等、危険物の配置概要	別紙の露店等の配置図
安全確認巡回　担当者	
安全確認巡回　要領	

3　指定催しを主催する者が、あらかじめ把握した対象火気器具等や危険物と客席を接近させない等、火災予防上の安全に配慮した会場の配置計画や、催し当日における会場の配置を確認するための方法を以下のとおり定める。

会場配置図	別紙の露店等の配置図
安全確認巡回　担当者	
安全確認巡回　要領	
その他必要な図面等	

4　指定催しを主催する者があらかじめ把握した対象火気器具等に対する消火器その他の消火準備の計画や、催し当日における消火準備の有無を確認するための方法を以下のとおり定める。

出店　店舗数 消火器の設置本数	別紙の露店等の配置図
消火器確認　担当者	
消火器確認　要領	
その他	

5　火災が発生した場合の消火・通報・避難活動を以下のとおり定める。

消火活動について	
通報連絡について	
避難誘導について	
周辺建物の関係者への 周知等について	

6　催しの会場において警備を行う消防、警察、警備会社等の実態の応じ、催しの主催者として確保する必要がある火災時の初動体制を以下のとおり定める。

警備業務の種別	業務内容
警備団体等	警察署　担当・連絡先・催し現場での連絡 消防署　担当・連絡先・催し現場での連絡 警備会社　担当・連絡先・催し現場での連絡 主催団体警備担当　担当・連絡先・催し現場での連絡
警備業務の目的 及び場所	
配置人員等	別紙　配置計画図のとおり
来場者の動線	
緊急車両の動線	
雨天時の対応	
周辺交通規制	別紙　交通規制図のとおり
駐車場対策	別紙　駐車場図のとおり
急病人けが人発生の対応	
火災発生時の対応	
地震発生時の対応	
強風等自然災害時の対応	
その他不測の事態の対応	
会場広報要領 （放送機材・広報者）	情報広報 規制広報 禁止広報
その他	

7　計画に変更が生じた際の消防機関との情報共有の方法等、火災予防上必要な業務を下記のとおり定める。

連絡方法の手段	
相互の連絡場所	
不測の事態の連絡方法	
その他	

※ 必要に応じて運営事務局と行政機関は連絡を密にして、すべての安全を確保する。

※ この様式を基本として、書式を変更できる。